

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

Table with 4 columns: 事業所番号, 法人名, 事業所名, 所在地, 自己評価作成日, 評価結果市町村受理日. Contains details for 社会福祉法人 創生会.

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

Table with 1 column: 基本情報リンク先URL

【評価機関概要(評価機関記入)】

Table with 3 columns: 評価機関名, 所在地, 訪問調査日. Contains details for 特定非営利活動法人 ニッポン・アクティブライフ・クラブ.

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

令和5年4月1日より株式会社創生事業団から社会福祉法人創生会となりました。ホーム理念として掲げている『その人の今を大切に』に沿って皆様との時間を大切にしながら入居者様と生活しております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

JR平和駅から徒歩圏内にあり、マンション、アパート、住宅が混在している中に鉄筋コンクリート2階建ての当該事業所と防火扉で仕切られている3階建ての介護付き有料老人ホームと併設立地している。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

Large table with 4 columns: 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印), 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印). Contains 10 rows of evaluation items (No. 56-62).

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I.理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所内にホーム理念「その人の今を大切に」を掲げ申し送り時に理念の唱和、確認を行い日々理念の実現に向け取り組んでおります。	理念は事業所内の目立つところに掲示し、毎朝の申し送り時に唱和している。月1度のスタッフ会議で共有事項として確認をしている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ禍で面会や地域交流等を自粛していましたが、今年より五類に移行された為、面会や来訪を再開し少しずつですが地域住民との交流を行なっております。	回覧板で町内会の行事情報を得ている。白石神社の祭りに職員と利用者が参加している。避難訓練では誘導時の利用者保護など地域住民の協力を得ている。今後、町内会行事の再開に伴い、参加を予定している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	コロナウイルス感染予防対策の為、現在は開催を見合わせていますが、五類感染症移行の為、大規模な行事を再開したり、運営推進会議の時等、相談や質問を受けており、アドバイス等させて頂いている。			
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナウイルスの感染状況を確認しながらですが運営推進会議を再開し、ホームでの取り組みや状況報告を行っております。頂いた意見などは、施設内で共有し支援に活かしております。	町内会会長、地域包括支援センター職員、民生委員、利用者家族が出席し運営報告、事故報告、行事予定、面会時の協力などを取り上げ年6回開催している。議事録は関係者と家族に送付している。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	管理者は、日頃から市役所の福祉課、介護保険課等と連絡を取り、入居者様の生活の確立に努めております。	福祉課や介護保険課とは密に連絡を取り助言、指導を得て申請や継続の書類を提出している。札幌市集団指導会議の参加や白石区内のグループホームとは情報交換を行なっている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	共同玄関は、オートロックを使用していますが館内から開錠しやすくなっている。また、入居者様が安全に生活できるよう、研修を行い身体抑制、拘束、言葉の抑制に注意し身体拘束をしないケアを心掛けております。	玄関はオートロックとし夜間と各フロア扉は状況に応じ施錠している。「身体拘束等適正委員会」を毎月行いスピーチロックや虐待防止委員会は3か月毎に研修会を開催し、議事録は回覧して全職員と共有している。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	社内で行われている講習会へ参加し、虐待について知識を習得し、日々のケアに生かすことができるよう取り組み、職員の意識を深め、虐待の防止に努めております。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	社内にて定期的に研修を開催し、職員全体で日常生活自立支援事業や成年後見人制度を把握できるように学ぶ機会を設け、それらを活用できるように努めております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	書面内容について分かりやすく説明し、質問などを受ける時間も作りながら納得して頂き契約を交わしております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に「ご意見箱」を設置し家族様が意見を出せる様環境づくりを行っております。また、電話でも意見を頂けるよう案内しております。	利用者とは日常の関わりから、家族とは来訪時や電話での会話から情報を得ている。要望や意見を記録し会議で発表、協議をして運営に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ユニット会議にて職員の意見を聞く場を設けたり、個別に相談や意見を受け付けております。	管理者はいつでも職員が意見や気づきを発言できる場を設け、資格習得の支援等運営に反映させている。職員とパート勤務者全員から年1回以上必要な時に面談を行い、人事評価は本部へ報告している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	月1度管理者会議の中で、各事業所管理者との交流や情報収集、意見交換や事業所の職場環境や整備に活かしております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月一回の研修会を設け、職員の介護に対する知識向上に努めております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域のグループホーム協会との連絡会はコロナ感染対策の為、開催されていませんでした。法人内での他グループホームとの情報・意見交換を行っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	お一人お一人の入居前の生活歴を大切に、不安な事や要望を汲み取り把握し、職員間で情報共有し安心して過ごして頂ける環境を提供できるよう努めております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前の面談の際に家族様が抱えている不安や要望を伺っております。入居後は、お便りや電話などで日常の様子をお伝えし、信頼関係を築けるよう努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	施設の見学時から必要と思われる事について本人様・家族様へサービス利用の提案をさせて頂き、その反応や意見に応じて対応しております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	個々のこれまでの生活習慣に配慮しながらADL状況や残存機能を理解し、お手伝いやご自分でできることを尊重したお声掛けを行っております。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族様も一緒に支援の方向を考えていただけるようにコミュニケーションを大切にしております。また毎月、日常の様子を写真付きの広報誌でお伝えしたり、本人様の声が届くよう電話などの支援も行っております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	希望された際は電話の取次ぎ支援や、お手紙作成の支援などを行ったり、居室に思い出の写真や家族写真を貼って懐かしめるような環境作りに努めております。	利用者との馴染みの関係が続いている2か月毎の訪問理美容での会話を楽しみの1つとしている。家族同伴での食事は大きな楽しみであるが感染防止対策を家族の協力のもと行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人一人の性格や状態を把握したうえでトラブルで嫌な思いをしないように座席の配慮、レクリエーションや行事を通してお互いを支え合える支援を心掛けております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も、その後の生活に不安がないように相談を受け可能な限りの支援を行なっております。また、お手紙を送らせて頂いたり、ご家族様との関係を大切にしております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日頃からコミュニケーションを大切にし個々のペースで安心できるように支援しております。ケアプランの更新時には可能な限りご本人の意向を伺い、困難な場合は家族様に伺っております。	入居時のアセスメントを参考に利用者の思いを日常の関わりと家族からの情報で把握している。毎月送付の通信で行事予定や個別毎に写真とコメントを添えて日常生活の様子を知らせ、家族からの感想や要望等を聞き取り、運営に反映させている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人様からも思い出のお話を伺ったり、写真や馴染みの物などを配置し本人様が安心を感じられる空間を提供しております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の記録や申し送り、カンファレンスで心身状態の変化や認知症の進行状況や変化などの情報共有を行ない支援に努めております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアプランの見直しや、支援内容の評価を行なっており、介護計画作成時には、入居者様の現状や意向にあった計画になる様に努めております。	事前に会議で方針を立て、介護記録や担当者、医療関係者、利用者、家族の意向を反映させた短期6ヶ月長期1年の計画書を作成し家族に説明のうえ同意を得ている。モニタリングは全員で行い状況変化時には都度計画を見直している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日、その日の生活状況を記録し職員間で情報共有を行なっております。また毎月モニタリングを作成し状態にあったケアができるよう計画書に活かしております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	病院受診、歯科往診、マッサージ往診、主治医の往診など家族様の協力もいただきながら個々のニーズにあったサービスを導入しております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナ感染対策で町内会の方との交流が出来ておりませんが、五類移行となり感染状況を把握しながら、以前のように町内の催しや地域交流バーベキュー等参加していただける様努めて参ります。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回のかかりつけ医の往診、急変時は24時間相談できるようになっています。また、他科受診の必要の際は家族様にも協力を得ながら適切な医療を受けていただける様努めております。	2週毎に全員が協力医の往診と状況に応じ採血、歯科医とは2週毎と随時の治療、看護師は毎週健康管理と健康相談を実施している。感染症ワクチン接種は当事業所で行い、薬局で1包化や分包化した薬をキャビネットに保管施錠している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回の訪問看護を受けており、健康観察と健康相談を行っています。1週間毎に各入居者様の生活状況等の情報をまとめた「申し送り表」を作成し、看護師との連携を図っております。			
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時に生活状況等の情報を速やかに提供し、入院中の様子は、家族様やソーシャルワーカー、看護師から頂いております。退院時は変化した入居者様の状態を情報共有し状態にあった環境を整えお迎えしております。			
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居契約時に重要事項説明書により説明を行っている。重度化した際は、改めて今後について話し合いを行わない方針を決め、ご家族様、主治医、看護師、管理者で話し合い施設でできる範囲の支援を行っている。	「重度化にかかわる指針」を説明し同意を得ている。状況変化時には医師と利用者・家族との説明に立ち会い、医師の指示に基づき支援し、要望があれば看取り契約後に研修を行い医師の指示による家族を含めた看取りを行っている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の連絡網を作成している他、定期的な研修で緊急対応について学んでおります。必要時は、医療職も交え学ぶ場を設けております。			
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年3回避難訓練をおこなっております。夜間想定と地震・水害・火災想定も踏まえた訓練を隣接施設と合同で行っております。町内会にも参加いただき有事の際には協力いただけるように連絡体制も築いております。	3回の夜間想定及び自然災害を含めた非難訓練を隣接事業所と合同で実施している。町内会などと避難所への協力関係が構築されている。食料はマジックライスと飲料水を3日分備蓄し、ポータブルストーブ、カセットガスコンロ、発電機、非常用照明器具を備えている。	事業所独自で第三者の立ち会いによる、訓練内容の評価と課題を受け、協議して次への訓練に反映することを期待したい。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様のこれまでの暮らしを知り、歩んできた人生に敬意を払い、入居者様にあった言葉選びやジェスチャーを心掛け、誇りやプライバシーを損ねないよう努めております。	入居時に写真掲載の同意を得ている。研修で接遇マナーを学び、排泄、食事、入浴などの介助支援を行う中で語調や言葉使い、不適切な言葉を使わないように配慮している。重要書類は事務室に適正に保管している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ケアを行なう際には、リラックスした雰囲気作りが出来る様に笑顔で接し、ご本人様の意思確認を行ってから支援しております。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々の生活の中で、入居者様一人一人の生活を把握し、ご本人様の生活を尊重し支援しております。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	衣類は季節に合わせて入居者様と一緒に選ぶようにしております。また、二カ月に1回訪問理美容があり、ご本人様の希望に沿ってカットやカラーリングを行っております。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	視覚からも興味を持って頂ける様な盛り付けの工夫をしたり、日々のコミュニケーションを図る際に意見を汲み取りながら作る過程から片付けまでを行える様に支援しております。	体調に合わせて茶碗拭きや食器洗いなどを楽しんでいる。本部のメニューに沿った食材を利用者に合わせて調理をし、誕生日にはケーキで祝い、行事食のほかに出前での寿司やうな重、焼き肉弁当など好みのものを提供している。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量の記録や体重確認、医師からの検査結果での助言指導を活用しております。また、咀嚼や嚥下の状態に応じてとろみやミキサー食での提供を行っております。			
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食ごとに口腔ケアの声掛けを行っており、個々に応じて仕上げ磨きなどの援助をし清潔を保てるよう支援しております。			
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の排泄パターンを記録し、排泄リズムを把握し羞恥心に配慮した声掛けや対応を行っております。	時間誘導や合図などでトイレでの自立排泄を支援している。環境が変わったことで1人での通常排泄に移行改善した利用者がある。リハビリパンツが主体で尿取りパッドやオムツを組み合わせて使用している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	入居者様の体調に合わせて水分や乳製品を適宜提供しております。腸内を活発に出来る様、体操等の運動も取り入れ、便秘予防に努めております。			
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	1週間に2回以上の入浴を守り、ご本人様の希望に寄り添い、定期的に変り湯などを取り入れながら入浴を楽しんでいただいております。	週2回の入浴を基本とし、入浴剤や同性介助、2人介助、シャワー浴、シャワーチェアの利用など、要望に添って支援している。浴室及び湯舟の清掃、湯の入れ替えや足拭きマットの交換は都度行い清潔を保持している。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	馴染みの寝具で落ち着く空間作りと個々に合わせた入眠環境を整え入眠時間に合わせて安心できる声掛けや環境作りを支援しております。			
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬内容や効能、副作用等をいつでも確認・把握が出来るようファイルを作成しており、変化があった際には、医師や薬局と連携を図っております。			
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の生活歴を把握し、楽しみを提供できるようにパズルや季節の装飾作成、レクリエーションなどを催し気分転換ができるように支援しております。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご本人様や家族様の希望に寄り添い、家族様と外出を楽しまれております。また、コロナウイルスの制限が緩和された為、職員と一緒に近隣の散歩や室内で体操などを行ない体力維持に努めております。	本人や家族の要望に寄り添い家族との外出を支援している。コロナ禍制限緩和移行、職員と一緒に近隣散歩での外気欲による気分転換や室内体操など体力維持に務めている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭の理解が難しくなられており、現在所持されている入居者様はおりません。必要となる物があつた際には、家族様の協力のもと代理で購入して頂いております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	届いた手紙やはがきは、居室に飾りいつでも見れるようにしております。ご家族様から電話があり希望があつた際にはご本人様とお話が出来る環境づくりを行っております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に合わせて装飾を変えて時間のながれや季節の訪れを感じられる工夫や、適切な温度や湿度を保てるよう加湿器等を置き、過ごしやすい環境作りに努めております。	リビング兼食堂は明るくて広い。エアコンやパネル暖房、加湿器で温湿度管理し、毎日清掃している。壁には行事写真や季節の飾りつけ、貼り絵作品を掲示し、ユーチューブ、テレビの歌番組やバラエティを楽しむ他、歩行や階段昇降訓練など思い思いに過ごしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	入居者様同士の関係を考慮した席の配置を行っております。ソファを窓側に置き外の景色を眺めながら入居者様同士が会話出来る環境作りに努めております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族様には、ご本人様の馴染みのある寝具や家具を用意して頂いております。居室には好きな物や家族様との写真等をいつでも見える場所に飾り、居心地の良い空間になるよう工夫しております。	居室内にはパネルヒーターやカーテン、照明、TV配線、ナースコール、クローゼットが設置され、使い慣れたものや好みの物等を持ち込み居心地よく過ごせるよう工夫している。清掃は毎日行い、シーツ交換は週1回を基本としている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	日々の生活で出来る事を見極め、お手伝いを行って頂いております。入居者様の生活に支障がないよう、椅子やテーブルの配置を考え安全に過ごせるように配慮しております。		